



大切な人へ、そして大切な地球へ。

 Present Tree® in ひろの

事業報告書 2018



発行 認定NPO法人環境リレーションズ研究所

この報告書は、公益社団法人日本フィランソロピー協会を通じ、「5のつく日。JCBで復興支援」の支援金にて製作しました

Present Tree® のあゆみ

プレゼントツリーの参加者は、主に首都圏をはじめとする大都市の個人や法人の方々です。里親の皆様の「大切な記念樹」は1本毎に番号札を付けて「植林証明書」を発行、手元にお届けし、以後10年に亘りその樹を地元の方々と一緒に育てていきます。10年間しっかり皆様の記念樹をその森に維持し続けることで、都会の人たちの、初めは「自分の記念樹」にだけ持っていた愛着が森全体に拡がり、森に行きたくなり、植樹当地を訪れ、地域の人たち達とも縁が生まれ、当地の賑わいや経済的活性化にも繋がるようになります。そして、森も潤い続ける、という好循環を目指すのがプレゼントツリーです。

今までに国内25カ所の森づくりをお手伝いしてきましたが、このしくみが最も活きているのが被災地支援のための森づくりです。10年かけて都市と地元との交流を育み、当地の復興に真に寄り添えるプレゼントツリーは地元からも大いに期待されています。



PresentTreeLive2007フライヤー

2005年	プレゼントツリーの森づくり開始。「人生の記念日に樹を植えよう！」の呼びかけに、幅広い層の市民が集まる。
2006年	プレゼントツリーの森づくりへの企業参加が始まる。
2007年	「音楽の力で森をつくろう」をコンセプトに、Present Tree Live を開催。奈良県東寺に4日間で約1万3千人が来場。
2008年	プレゼントツリーの森が7カ所に。皆伐放棄地対策、台風による被災林再生、生物多様性保全など、場所に応じた目的のための森づくりが、改めて「地球温暖化防止活動」として評価され、環境大臣賞を受賞。
2009年	プレゼントツリーの森が10カ所突破。
2010年	はじめての「復興支援型」プレゼントツリーが、宮城県川南町における「 口蹄疫復興祈念の森づくり 」としてスタート。
2011年	東日本大震災発災。東北被災地三県から「森づくりを通じた復興」のための協力要請が集まる。
2012年	東北復興支援型プレゼントツリー第一弾、岩手県宮古市における森づくりを開始。災害復旧ボランティアが減り始めたタイミングでの「交流の森」づくりに注目が集まる。
2013年	都市と中山間地域との交流による森づくりが評価され、「TOKYO EARTH WORKERS」優秀賞 受賞
2014年	東北復興支援型プレゼントツリー第二弾、宮城県大崎市における森づくり開始。
2015年	「環境省グッドライフアワード2015」実行委員会特別賞受賞
2016年	「双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト」、福島県広野町における プレゼントツリーの森づくり スタート。
2017年 ～2018年	NPO広野わいわいプロジェクト、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトとの協働により、計6回の森の交流イベント実施。 国内25カ所で活動中！



宮城県川南町協定式



全国に拡がるプレゼントツリー

そして、これから・・・

「Present Tree in ひろの」では、防災緑地の一面に福島県地域在来の広葉樹5種を植え、町民と里親である都市部企業や市民との交流の機会を創出することにより、町に賑わいをとり戻し、広野町のさらなる復興と新しい双葉地域の創造に向けて、10年間の協定の下、町民の皆さまとともに森の生育を見届けます。

今後も、継続的なイベント等の開催により植樹や育樹の作業を通して、町民と都市部市民との交流人口の増大と広野町の賑わいづくりに寄与していきたいと願っています。

PresenTree in ひろの 協働体制

- ・ 認定NPO法人環境リレーションズ研究所：プレゼントツリーの運営
- ・ わいわいプロジェクト：プレゼントツリーの森のお世話やツアーの受け入れなど
- ・ いわきおてんとSUN企業組合・ふくしまオーガニックコットンプロジェクト：ボランティアバス運営の協働など
- ・ ひろの防災緑地サポーターズクラブ、広野町、福島県富岡土木事務所：10年協定の当事者
- ・ 認定NPO法人JKSK女性の活力を社会の活力に（JKSK）：参加者募集協力など
- ・ ロハスビジネスアライアンス：プロジェクトの広報・企画など

双葉八町村に春を呼ぶ！

福島県浜通り地方に位置する広野町。
津波被害にあった海岸部には、
防災のみならず地域振興の拠点となる
防災緑地が造られます。
人びとの交流により
町の賑わいをとり戻し、
ここから双葉八町村に春を呼びます！



広野町は、福島県浜通り地方、双葉郡の最も南部に位置し、
東は太平洋、西には阿武隈山脈が連なります。
「東北に春を告げるまち」を掲げ、北限のみかんが採れる温暖な気候で、
「汽車」「とんぼのめがね」の童謡が生まれた詩情豊かなまちです。
広野町の先人たちは、昔から自然を活かした風土を創り上げてきました。

沿岸部の白砂青松は、陸前街道の名所と謳われてきました。
しかし、東日本大震災による津波の被害をうけ、海岸の様相は一変しました。
「ひろの防災緑地」は、町民が震災の教訓を活かし、
広野町の人々の命を守るとともに、
震災の記憶を未来へつないでいくことを目指しています。

Present Tree in ひろのでは、
「ひろの防災緑地」の一面に里山由来の広葉樹5種を植えます。
町内外の人びとの交流の機会を創出し、
町に賑わいをとり戻し、広野町の復興と未来をともに祈り活動していきます。



「Present Tree in ひろの」植栽地



東日本大震災による 9m もの津波で被災した広野町の沿岸部に、
県が整備してきた「ひろの防災緑地」が 2015 年 12 月 2 日に完成
しました。防災緑地は延長 2km、面積は 10.7ha、幅は 50m です。

沿岸部を 10.7m の高さにまでかさ上げしており、太平洋を望む遊
歩道も備えています。また、延長震災前より 2.5m 高くした 8.7m
の堤防は 10 月に完成しています。

この構造によって、津波に備えた多重防御の対策となり、堤防と
内側にある防災緑地が共に津波の威力を弱め、避難までの時間を
稼ぐ役割があります。また、減災の目的に加え、震災の記憶を未
来へつなぎ、町民の安らぎとコミュニケーションの場となること
も期待されています。

2016 年 3 月 5 日には地域住民他が協力して、斜面に約 6 万本のク
ロマツや広葉樹を植えました。翌 6 日には、環境リレーションズ
研究所主催による「森の交流会」を開催し、「Present Tree in ひ
ろの」の植栽地に、町内外 130 名の参加者で地域在来の広葉樹 5
種 2,000 本を植え、都市部と地元住民との交流をおこないました。



Present Tree® in ひろの ひろのでの活動 始まり～ひろがり

NP0法人広野わいわいプロジェクトの皆さんとともに歩んだこのプロジェクトは2015年から始まり現在に至ります



2015年6月25日 工事中の防災緑地



2015年6月25日 富岡土木事務所の方から、現場内で今後の工事計画の説明を受けました



2016年1月14日「Present Tree in ひろの」協定書締結式@広野町役場



2016年3月5日 ひろの防災緑地植樹祭



2016年3月6日 「Present Tree in ひろの」森の交流会





2016 年 7 月 24 日

第1回 ふくしまオーガニックコットンとの協働ボランティアバスツアー

参加者は広野町外から約 50 名。

防災緑地では遠藤町長と本多副町長が参加者を迎えて下さいました。まずは、お二人を交えての集合写真撮影。

真っ青な晴天のもと、浜風を受けながら、根を張った雑草刈りに悪戦苦闘しました。防災緑地造成のため町外から運ばれた土の中の種が、施肥によって繁茂したのでしょうか。刈った草は、大きなゴミ袋 10 個分以上になりました。



2016 年 11 月 6 日

第2回 ふくしまオーガニックコットンとの協働ボランティアバスツアー

参加者は広野町外から約 40 名。

7 月のボラバスツアーでの草刈り作業に加え、NPO 法人広野わいわいプロジェクトのメンバーが追加作業をして下さったにも関わらず、11 月というのにまだまだ雑草は元気でした。参加者は、草刈り班と見出し杭打込み班に分かれて作業。落葉広葉樹の苗木は、黄葉し始めていました。



2016 年 12 月 17～18 日

第3回 ふくしまオーガニックコットンとの協働ボランティアバスツアー

参加者は広野町外から約 30 名。

全 3 回の最終回は、1 泊 2 日の行程で実施されました。防災緑地やオーガニックコットン畑、町内のニッ渚公園での作業のほか、地元住民の皆さまとのワークショップや広野町の「いいところ巡り」など新たなプログラムも加わり、町内外の皆さまの交流がより深まりました。



そして、2017年、2018年は心の復興に繋がる活動を！交流ツアー開催

本交流ツアーは、公益社団法人日本フィランソロピー協会を通じ、「5のつく日。JCBで復興支援」の支援金にて運営しました



ひろの交流ツアーに
参加された皆様からは
また行きたい、もっと地元を知りたい
応援したい、長く繋がりたい、と
これからの復興に向け、
心強い多くの声をいただきました
ご参加ありがとうございました！

交流ツアー参加者や広野町の方の声

- ・継続的に途切れることなく来てもらえるように、交流ツアーと地元マルシェの同時開催等前向きに検討したいと思います
- ・広野町とPresentTreeさんの頑張りが伝わってきました
- ・震災から6年半が過ぎ風化というより震災そのものを知らない世代が増えてきています。被災を忘れないで次世代に伝えるプログラムを希望します
- ・地元の方々が暖かく迎えてくれたのが印象的だった
- ・記憶が薄れないように、震災の語り部さんのお話も伺いたい
- ・今後とも継続してほしい
- ・祭りで神輿を担いでいた方が本当に嬉しそうで更に応援したくなった。他の交流ツアー参加者も熱い方も多く、気持ちも熱くなりました
- ・浪江町がまだ震災の爪痕が深く、少し悲しい気持ちになりました
- ・地域活性化に対してとてもポジティブに協力して行っている姿が印象的でした。また来たいと思います

第1回 2017年11月26日

オーガニックコットン綿摘み～地元交流～PTひろの草刈り～鮭の孵化場見学（木戸側漁港鵜組合）



丁寧に綿を摘みました



黙々と草刈りも…



お昼は地元の食材も楽しみながら！



「サケが帰ってきた！」の著者から川の復興も学びました

第2回 2018年4月8日

オーガニックコットン綿繰り作業～地元交流～PTひろの視察～タンタンペロペロ参加～富岡町桜並木見学



地元の祝い飯をご馳走に



秋に積んだコットンの種抜きや綿繰り作業もワイワイ楽しく



8年ぶりの神事「タンタンペロペロ」を見て応援！



桜のきれいな夜の森@富岡町

第3回 2018年9月2日

PTひろの草刈り～地元交流～田んぼアート～浪江視察（請戸小学校・請戸漁港・大平山霊園）



温かいおにぎりとお汁で



田んぼアートを見て応援！@榎葉町



防災緑地の草も沢山刈りました



浪江の慰霊碑前で涙ぐむ参加者も…

ひろのでの活動に関する掲載実績です

掲載日	掲載媒体	タイトル
2015年8月	毎日新聞 マイECO	「双葉八町村に春を呼ぶ！広野ワイワイプロジェクト」がスタート 福島県広野町で「車座」交流会
2016年1月	復興庁プレスリリース	双葉八町村に春を呼ぶ！広野わいわいプロジェクト プレゼントツリーの里親を募集開始
2016年1月	福島県広野町公式webサイト	ひろの防災緑地活動協定書を締結
2016年1月	NHK NEWSweb	防災緑地の管理でNP0と協定
2016年1月	福島民友新聞	防災緑地整備で交流 広野町、NP0など協定
2016年1月	福島民友新聞	防災緑地管理で協定 住民団体とNP0、町、県
2016年3月	福島民友新聞	防災緑地の整備に協力
2016年4月	東京新聞	樹の贈り物で地域再生
2016年7月	福島民友新聞	ボランティアに感謝 広野町長、都内で講演
2016年7月	福島民友新聞	綿畑の除草に汗 広野で首都圏ボランティア
2016年7月	福島民報	防災緑地で除草作業 広野町長が整備状況紹介 東京のNP0などが参加
2016年12月	福島民友新聞	住民と防災緑地手入れ-広野 ボランティア宿泊交流
2017年11月	福島民報	コットン収穫し交流 都内のNP0広野でイベント
2017年12月	福島民友新聞	綿の摘み取り体験 広野でボランティアら
2018年5月	ソトコト	植樹をきっかけに地域を元気にする
2018年5月	東京新聞	「SDGs 東北の未来へ 3」神事の復活で地域再生

東北に春を告げるまち

福島県 広野町

ENGLISH
多言語サイト

ホーム	町の紹介	くらしのガイド	農業・商業	観光情報	行政情報
-----	------	---------	-------	------	------

文字サイズ 縮小 標準 拡大

[検索](#) [ウェブサイトマップ](#)

HOME > トピックス > 平成27年度トピックス > まちの話題(平成28年1月)

トピックス

Topics

- [平成27年度](#)
- [平成26年度](#)
- [平成25年度](#)
- [平成24年度](#)

トピックス

まちの話題（平成28年1月）

更新日：2016年1月15日

ひろの防災緑地活動協定書を締結

1月14日(木)、広野町役場で特定非営利活動法人環境ホールーシヨンズ研究所、ひろの防災緑地サポーターズクラブ、福島県および広野町が、ひろの防災緑地活動協定書締結式を行い、鈴木敦子町研究理事兼、鈴木正輔町クラブ会長、矢野純一郎県国土事務所長および佐藤市長が協定書に署名押印しました。この協定書によりひろの防災緑地の一面をPresent Tree in ひろのと呼び、同研究所が植物の種類を募集するなど、活動に貢献していきます。

福島県広野町公式HPより



3

2018年(平成30年)5月18日(火曜日)

30分

東北の未来へ

30分

東北の未来へ

30分

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東北の未来へ

東京新聞2018年5月1日付

[illegible]



Present Tree® メッセージ紹介

プレゼントツリーと一緒に贈られるメッセージ。心温まる言葉とともに大切な方へ贈ってくださいます

東日本大震災を受けた地域へのささやかな気持ちとして。
10年後の森林の成長を楽しみにしています。

福島県のこれからの幸を願ってエシカルな結婚式の記念に
2本の樹を贈らせていただきます。
共にゆっくり育っていききたいと思います。

敬老の日にあたり、じいちゃんの長寿を祝って樹を一本植えました。
東北支援も兼ねて宮城県が植樹先です。
水田上流にある水源の森づくりに役立つことになっています。
じいちゃんの子孫が国を支えていくように
数十年後、大きく育った樹が国土を支えていくでしょう。
いつもありがとう。

わたしが育った26年間は、とても幸せだったよ。これから家族を繋げ、
大切に育てていきます。今まで、有難うございました。
10年後、20年後、成長した木を、復興した町を、家族みんなで見に
いきましょう。

お父さん・お母さんへ
今日まで育ててくれてありがとうございました。
これからは、二人で笑って、泣いて、支えあいながら、夫婦としてこの
木と一緒に成長していけたらなあと思います。見守ってください。

長年のお仕事お疲れ様でした。
定年退職に際し、記念植樹を申し込みました。

結婚26年の記念に植樹しました。
金婚式を迎える24年後、一緒に家族皆と大きくなった、樹を見に行きた
いね。それまで、元気で、健康でいつまでも仲良くね。

光が燦々と降り注ぐ時も、余りに寒く震える夜も
真二君といられる事で、私は全てに満ちていられます。
10年後も20年後も命が尽きた後も、
この2本の木が私たちの様に寄り添い・助け合い
深い根でつながり合っていられます様に
愛を込めて

一つの命が生まれたことを記念し、樹を植えました。
大地に大きな根をはり、すくすくと成長されることを願っています。
こころも体も健やかに成長しますように。

元気に産まれてきてくれてありがとう。
ここに家族の絆が生まれました。記念に植樹します。
この樹とともに、僕たち家族はどんなふうに育つのだろう。
未来が楽しみです。ありがとうございます。

小学校入学おめでとう！
あなたの成長に感謝して、1本の樹を植えました。
あなたの明るい笑顔は私たちを元気にしてくれます。
これからたくさんのことを勉強して、さらに優しい素敵な女の子になっ
てください。

わたしへ
20歳おめでとう。
10年後か20年後に木を大切な人と見に行こうね。
木も私も成長できますように。

地球に一本の樹を植えてみました。
来年がより一層良い年となりますように。

アロマ教室への参加費とアロマキャンドルの売上金の一部を、〈山梨の
里山づくり〉と〈東北復興支援〉のために寄付させていただきました。
心のエネルギーをいつもありがとうございます。

お誕生日おめでとう
30歳の記念に、樹を1本プレゼントします
これから、より一層
大地に根を張るようにたくましく健やかに
明日に向かって歩まれますように
ゆかりのある場所に樹を植えました
40歳、50歳、節目の時にでも
自分の成長とともに歩んだ樹を見に行ってください

創立10周年おめでとうございます。
お祝いにこの大地にスケールの樹を一本植えました。
この樹が大地に根を張り成長していくように
この樹と共に10年後20年後とどんどん成長して大きくなっていますね。
これから世の中の物差しとなる企業で続けて下さいませ。
そして、いつか成長した樹を見に行きましょう。

受賞祝いこの度は栄えある受賞、誠にありがとうございます。
長年に渡る貴殿の努力に敬意を表し、樹を一本植えさせていただきます。
これからもより一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。

結婚式を記念して、
今年のGWに二人で初めて訪れた新緑の美しかった山梨県に一本の木を
植樹します。
私達は、今後老いていくばかりですが、
この木がスクスクと育っていつてくれることを期待しております。
そして、いつか
この成長した木を二人で実際に見ればいいのになあ・・・。

活動に賛同し、植林活動を応援致します。

お誕生日おめでとうございます。
地球には、木が必要だと思います。今、地球上にどれだけの人が地球の
自然を守ることをしているのでしょうか？
私もできていないため、プレゼントに関連付けて、同額を寄付し、それ
をプレゼントもして贈ります。
おばあちゃんの成長、勇気を貰いました。

あなたに私から最初に贈るものは
どんなものがいいかを考えていました。
いつもあなたは
私にたくさんのものをくれているのに
私はといえば、あなたが喜びそうなものもわからなくて
何かお返しをしたいと考えていても
何も出来ないまま過ぎていました。
そんなときこの贈り物を見つけました。
あなたと過ごしている瑞浪市から
少し離れた岐阜の高山市に
ひとつの木を植えました。
いつかこの木が成長した姿を
一緒に見に行ける日が訪れたらと願いを込めて。
いつもありがとう。



大切な人へ、そして大切な地球へ。

Present Tree® in ひろの www.presenttree.jp

「Present Tree in ひろの」は、平成27年度復興「新しい東北 先導モデル事業」に採択された「双葉八町村に春を呼ぶ!広野わいわいプロジェクト」の取組みのひとつです。

公式サイト



企画・運営: 認定NPO法人 環境リレーションズ研究所 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル8F
TEL 03-5283-8143 FAX 03-3296-8656 E-mail ptmail@presenttree.jp